Japan | Tokyo

„井の頭公園の都市伝説“

「私はね、ここ東京の中心部で、得体の知れない大きな危険があることを、あなたたちに警告したいの。それは、叔父の友達の知り合いの女性に起こったことなんだけど、他の誰にでも起こり得ることだからね。お花見の季節になって、ロマンチックな場所を見つけるために、二人は東京中を探したらしいの。最後に見つけたのが、吉祥寺にある井の頭公園だったの。手をつないで、ピンク色に染まる桜の海源の下をゆっくりと歩いてたの。そしてスワンボートに乗ったら起きてしまったの。。。

･･･池の真ん中で、二人は初めて喧嘩をしてしまったの。突然、二人の間には冷たい空気が流れて、それを彼は彼女のせいにし、彼女は彼のせいにしたの。以来、日に日に喧嘩は激しくなってきて、とうとう互いに我慢できなくて、最後には別れてしまったの。傷心し切った彼女は、もう一度井の頭公園に向かったんだ。そしたら突然、柳の後ろに赤く光っている神社が見えたんだって。中にいた神主は、この公園に 200 年以上も昔から語り継がれている呪いについて。。。

弁天社に近づく恋人たちは、弁天様の怒りを買ってしまい、皆別れることになってしまうんだよ、と。それがたとえ大恋愛だとしても、結局は別れてしまうんだって。。！」

Copyright: Goethe-Institut Japan, 2012